



一般財団法人  
**人生100年社会デザイン財団**

産業社会から消費社会につづく、これからの社会となる「人生100年社会」を「『学び』社会」と定義し、  
その在り方を研究し、その姿を明らかにし、学術的な基盤を構築し、社会に実装する

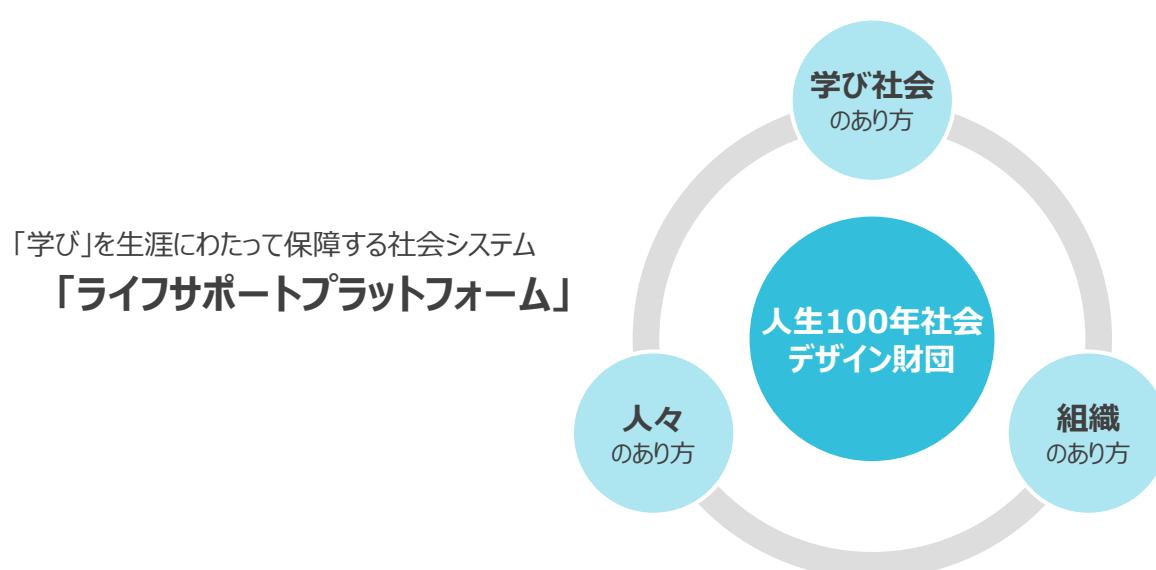
私たちは、社会の構造的な転換点に立っています。

少子高齢・人口減少の社会的進展、産業構造の変容、そして長寿命社会の到来。私たちは、これら大きな社会変動に日々晒されています。私たちは、来たるべき社会を、人生100年社会であるととらえ、それは、誰ひとりとして取り残されることなく、それぞれが他者との関わりの中で、自らの人生を決定できる社会であると考えています。

この社会の核となるものを、私たちは「**学び**」と位置づけます。「学び」とは知識や技術を学ぶということだけではありません。むしろ、**一人ひとりの人々が、他者との間にあって、対話的に、新たな価値をつくりだし、人生100年をわくわくしながら生き抜くことができる、そのプロセス全体**をいいます。そして、この「学び」のためには、その「学び」を生涯にわたって保障する社会システムが必要となります。

これを私たちは、「**ライフサポートプラットフォーム**」と名付け、人々の生活を生涯にわたって支え続けるための社会的な基盤整備事業だと位置づけます。このライフサポートプラットフォームを社会制度として整備し、人々の「学び」を励まし続けることで、一人ひとりの人々が自らの価値をつくりだし、また他者との交流の中で新たな価値を創造し続けることができ、社会全体がにぎやかな価値に覆われ、一人ひとりが自ら納得して自分の人生を決定することができること、これこそが来たるべき社会のあり方だと考えます。**来たるべき社会を実現するために、私たちは、そのエンジンとしての「一般財団法人人生100年社会デザイン財団」を設立します。**

この財団では、人々の生涯にわたる生活を支えるプラットフォームの形を研究し、政策提言を含めた事業を進めます。また、「学び」のあり方を検討して、新たな価値を生み出し続け、わくわくして人生100年を生き抜く人々の姿を明らかにするとともに、そのための事業を創生して、市場を通して社会に実装することで、この社会を多元的な価値に溢れる、誰もが価値の創造者として、役割を担い続け、自己変革し続ける社会の実現を目指します。



私たちは、「**人々**」と「**組織**」が社会をつくり、価値を革新し、社会をつくりかえ続ける運動のプロセス全体を

「学び」ととらえ、これから社会そのものを**「学び」の社会**と定義したいと考えます。

その「学び」を生涯にわたって保障する社会システム**「ライフサポートプラットフォーム」**が必要となります。

## 背景

人生100年時代の到来とともに、社会の様々な領域の構造的な変化が引き起こされています。

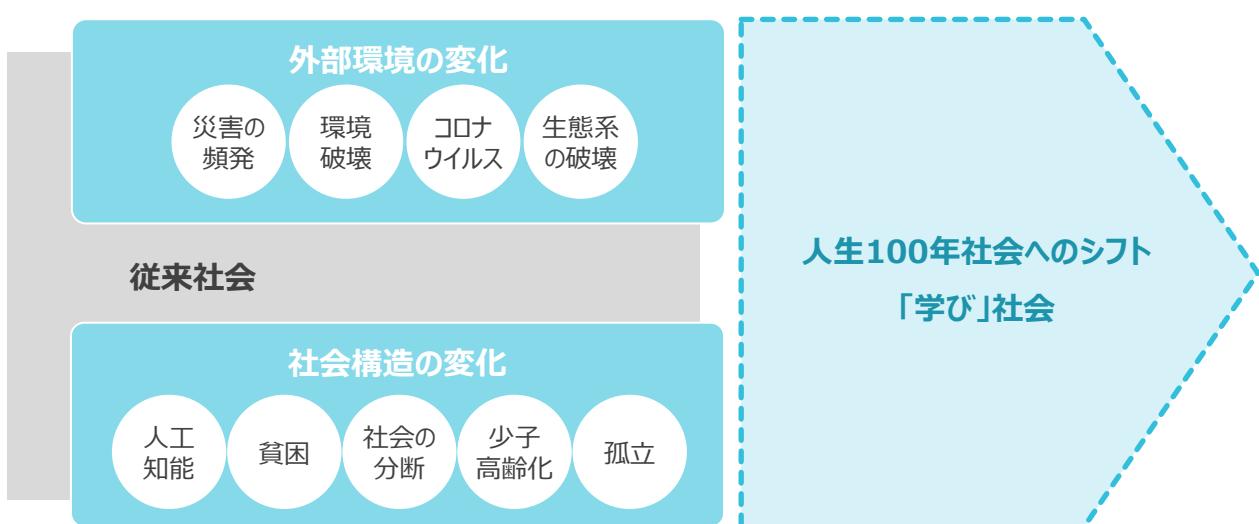
例えばindustry 4.0やsociety 5.0と呼ばれる人工知能を基盤とした社会の到来や、災害の頻発、貧困などによる社会の分断と孤立、新型コロナウイルスの災禍、更に、日本では2060年には認知症患者が総人口の13%を占めると予測されています。

また、私たちをとりまく外部環境については、環境破壊や気候変動による生態系の異変など長期的かつ大規模な変化が起きつつあります。これらの構造的变化に対応して、SDGsが今後の社会の一つのあり方として、人々や企業に受け入れられてきています。

社会の構造的な変化や外部環境の変化は、**人々の価値観の多様化・多元化**、人々の**記憶・経験をベースにした社会からの構造的変容**など、従来の社会、とりわけ市場社会のあり方に疑問を投げかけるだけでなく、**人々のコミュニケーションのあり方**にまで大きな影響をもたらしています。

私たちは今、これまでとは異なる社会イメージを、新たな人間像と組織論を基礎として、創造し実装して、社会を革新していくことが求められる時代に立っています。

政府も人生100年時代の到来に対し、人々に新たな生き方を模索するように提唱しています。**学び直すこと、生涯学び続けることが益々重要になると考えられます。**



## 課題

新たな学び方が提唱されている一方、人々が社会に適応することを基本に考える枠組みから自由になつていません。これからの社会は、私たちが経験したことのない社会であり、従来の観点と手法による、新たな社会のイメージと制度の創造には多くの困難が立ちはだかっています。

## 『学び』の実践が指し示している新しい人間像と組織論をとらえ、 人生100年時代の社会のグランドデザインを描く

1

人々の「学び」の実践を基本として、  
社会における人の存在と組織のあり方を探求する。

2

自我や人格、それを支える発達・成長の概念を検討、革新して、  
新たな人間像と組織像を模索し、  
その観点から人生100年社会のグランドデザインを描き出す。

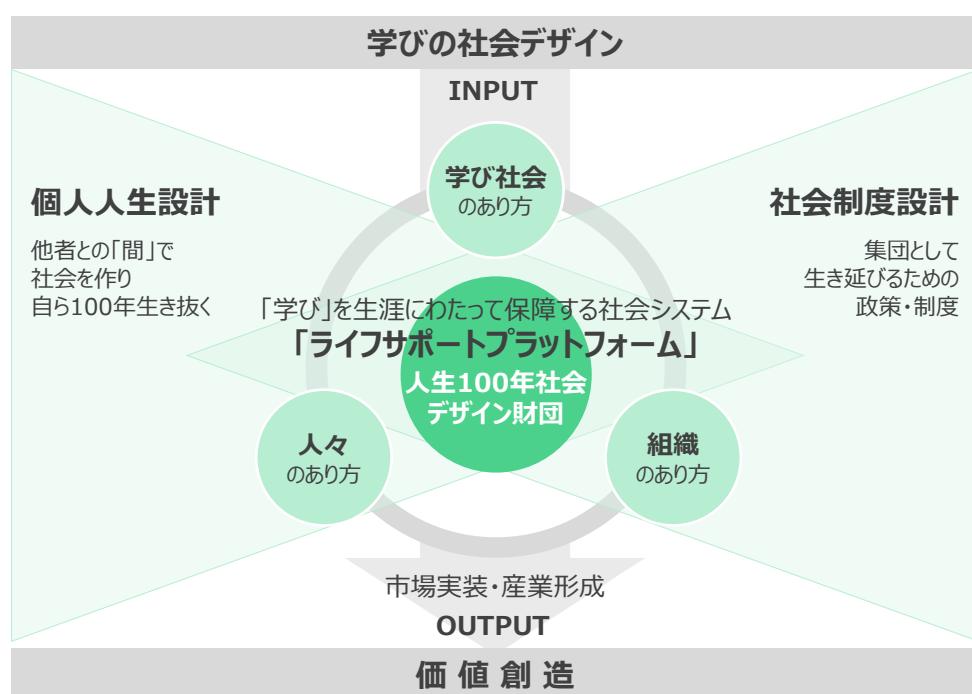
3

新たな人間像と組織像にもとづいて、市場のあり方を含めた、  
実践的課題を検討しつつ、人生100年社会のモデルを形成する。

4

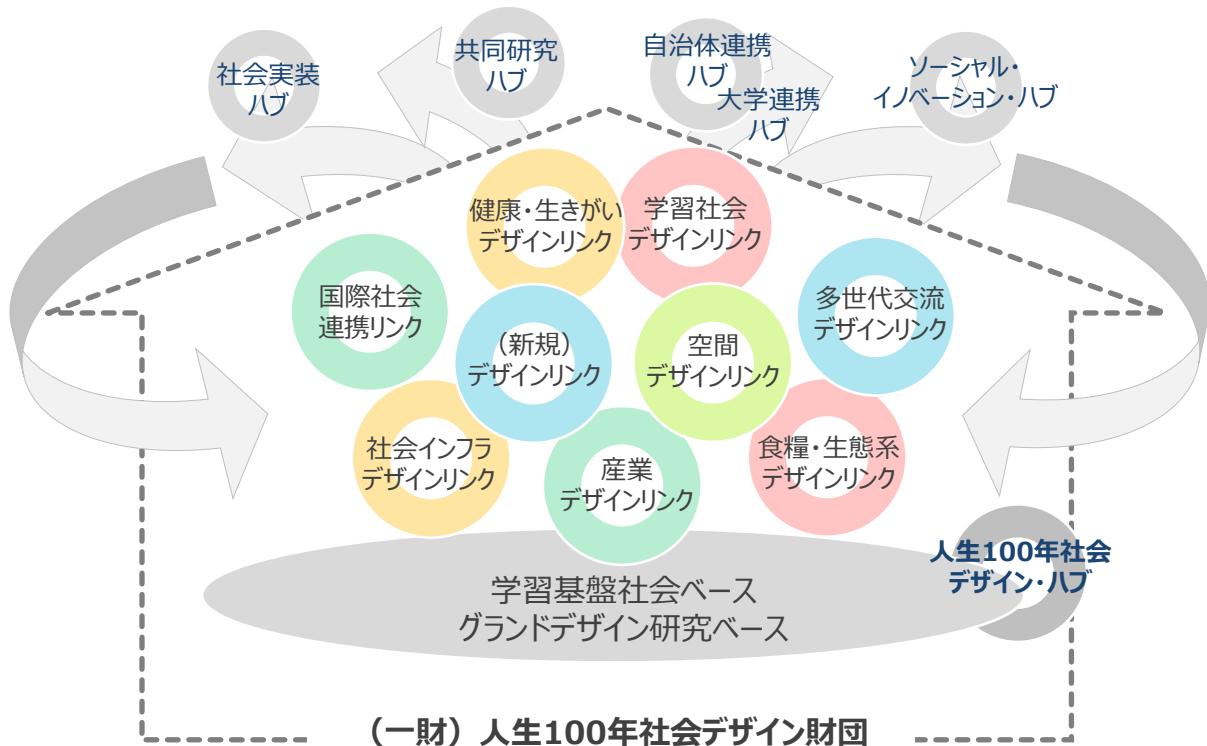
「学び」を生涯にわたって保障する社会システムの基盤である  
「ライフサポートプラットフォーム」を形成する。

財団では、メインテーマとなる「学び社会のあり方」をデザインしていく上で、同時に「人々のあり方」、「組織のあり方」から、個人の人生設計と社会の制度設計を考え、市場実装・産業形成につながる価値の創造を行います。



# 人生100年社会の枠組みとデザインリンクのポジショニング

学び社会のデザインを「**デザインリンク**」と称した研究領域に細分化し、それぞれの分野における課題解決を研究し、人生100年社会のグランドデザインを描きます。また、それらを社会実装する仕組みも同時に考えていきます。



価値創造の実現に向け、「学習基盤社会ベース、グランドデザイン研究ベース」を基盤に講義や研究を進めます。「ベース」の理念を実現するため、関連テーマごとに細分化した「デザインリンク」にて社会実装や研究を進めます。外部団体などの「ハブ」と繋がりつつ、「デザインリンク」にて進めた結果を再度「ベース」に還元し、人生100年社会のグランドデザイン・実践をバージョンアップさせていきます。



子どもたち（2～11才）から見た、「つながる」社会、「学びあう」社会、「相手をおもんぱかる」社会

# 財団の特徴及び活動方法

## 財団の特徴

研究財団として「人々」と「組織」の社会的なあり方である「学び」を基本とし、研究を進めます。

## 財団の活動

- 1.大学や行政、関係機関・組織、企業との強い連携による、**研究成果の社会実装**
- 2.「デザインリンク」を**領域横断的に形成**し、人の「学び」を基盤的に描き、それらを相互に融合
- 3.研究及び研究成果の**社会還元、政策提言**

なお、財団では研究成果の書籍化や産業展示会、シンポジウム・セミナー・講演会などを実施します。

## 財団の事業内容

### 学習基盤事業 ~100年アカデミー事業~

#### 【人生100年社会デザイン概論】

講義と招待研究者による特別講義

#### 【人生100年社会デザイン各論】

概論から抽出された領域別テーマの講義

#### 【シンポジウムやセミナー開催】

研究発表の場や領域横断的な交流の場の創出

### 共同研究事業 ~“Revive”コミュニティ事業~

#### 【リンク別研究会】

領域での研究会「デザインリンク」により社会実装のフィジビリティ・スタディを実施

#### 【外部連携ハブとの研究】

「リンク」と外部同領域で活動している組織などとの連携を積極的に行い、社会実装を検討

### 実装支援事業 ~アクレディテーション事業~

#### 【人材育成】

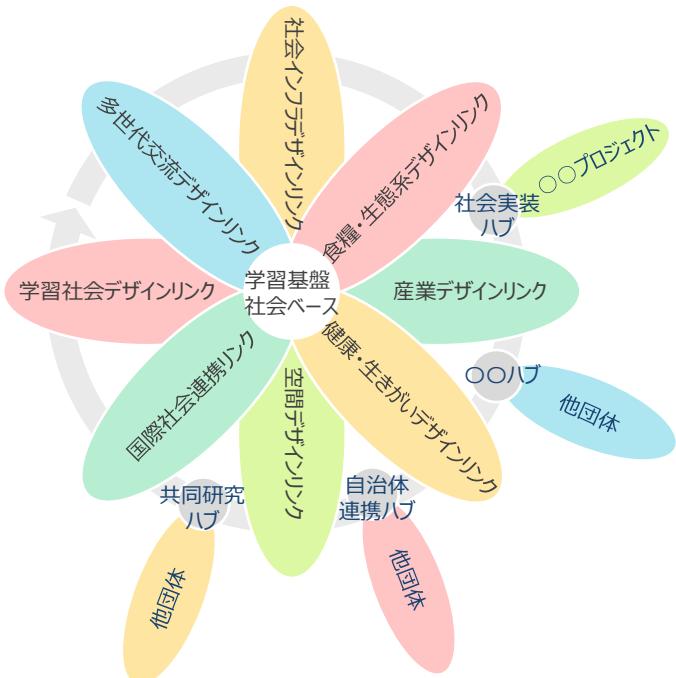
#### 【コンサルティング】

#### 【その他、地域での実装に必要な支援】

リンクとハブの関係図

リンク：概論から抽出されたテーマ別の共同研究プラットフォーム

ハブ：外部既存組織との連携プラットフォーム



## 今後の活動展開と成果

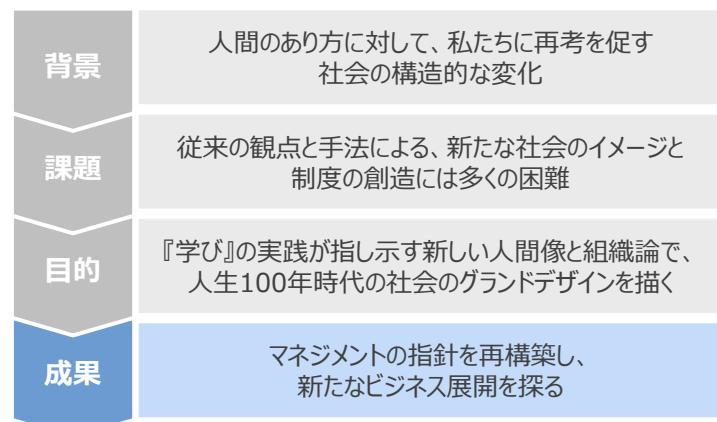
### 活動の展開

国際的な新たな社会形成に対しても、共同研究を組織しつつ、貢献していきます。

日本における研究成果やモデル形成の**実証結果を、アジア地域及び世界に提供**し、実践的かつ現実的な事業展開を目指しています。

### 活動成果

参加企業は、3つのレベルを体系的に学び、実践することで、「人生100年社会」におけるマネジメントの指針を再構築し、新たなビジネス展開を探ることができます。



# 当財団の理事等

## 代表理事

神野直彦 東京大学 名誉教授

牧野 篤 東京大学大学院教育学研究科 教授

## 理事

占部 まり 宇沢国際学館 代表取締役  
日本メント・モリ 代表理事

中村裕司 前アイ・エス・エスグループ会長  
(株)アイ・エス・エスグループ本社 相談役

## 監事

春名潤也 弁護士  
公益社団法人名古屋青年会議所 監事  
セントラル法律事務所

松久久也 (株)プレジデントワン 代表取締役  
ASEAN-NAGOYA CLUB 理事

## 評議員

加藤暢一 公認会計士  
日本公認会計士協会東京会  
公会計委員会 副委員長  
加藤公認会計士事務所 所長

関内壮一郎 弁護士  
東京家庭裁判所 調停委員  
東京有楽町法律事務所

土屋 彰 税理士  
日本税理士会連合会 理事  
東京税理士会 常務理事  
城北税理士法人 代表社員

## 顧問

森田 朗 東京大学 名誉教授

藤野陽三 東京大学 名誉教授  
横浜国立大学 名誉教授  
城西大学 学長

新海英行 名古屋大学 名誉教授

今里 滋 九州大学 名誉教授  
同志社大学 名誉教授  
日本ソーシャルイノベーション学会 代表理事

新川達郎 同志社大学 名誉教授  
日本ソーシャルイノベーション学会 代表理事

武田俊彦 元厚生労働省 医政局長  
東京海上日動火災保険(株) 顧問

藤本貴也 元国土交通省 国土地理院長

荒木篤志 (株)八神製作所 代表取締役社長

池田昌人 ソフトバンク(株) CSR本部長・SDGs推進室長

上村多恵子 京南倉庫(株) 代表取締役

川口伸吾 東京海上日動火災保険(株) 専務取締役

小林憲治 スバル興業(株) 代表取締役会長

鈴木清晃 元郵便局(株) 専務執行役員  
元(株)ローソン 上級執行役員

高橋直司 (株)やる気スイッチグループ 代表取締役社長

野崎秀則 (株)オリエンタルコンサルタンツ 代表取締役社長

山崎 亮 (株)studio-L 代表取締役

吉田博彦 NPO法人教育支援協会 代表理事

## 参加方法

人生100年社会デザイン財団の参加方法は以下の通りです。

会員	入会金	年会費
法人会員	10万円	1口10万円
賛助会員（外部の連携団体）	－	1口10万円
特別会員（官庁・自治体・学校等の公共性の高い団体）	－	無償
個人会員	2千円	1万2千円
学生会員（大学）	－	6千円
学生会員（高校生以下）	－	無償

## 共同研究費

企業参画 1口50万円（プロジェクト規模・参画企業数によって口数を決定）

特別参画 無償（官庁・自治体・学校等公共性の高い団体）

学び × 関係の創出 = 持続可能な人生100年社会

## お問い合わせ先

### 人生100年社会デザイン財団 事務局

住所 : 〒106-0047  
東京都港区南麻布5-2-32 興和広尾ビル2F  
(株)アイ・エス・エス気付

TEL : 03-6408-6177

FAX : 03-6408-6199

E-mail : info@100design.or.jp

(担当 : 松崎、小椋)

